業務効率化で生産性向上

米子・ウチダレック

不動産業界初、週休3日

不動産事業などを展開するウチダレック（米子市米原5丁目、内田良一社長）はITを活用した事業の再構築により、業務の効率化を推進している。新たなシステムを開発したことで、従来より少人数で業務が行えるようになり、生産性が向上。昨年から週休3日制も導入し、働きやすい環境を整備している。同社によると、不動産業界で週休3日制を導入したのは初めてだという。（岡野耕次）

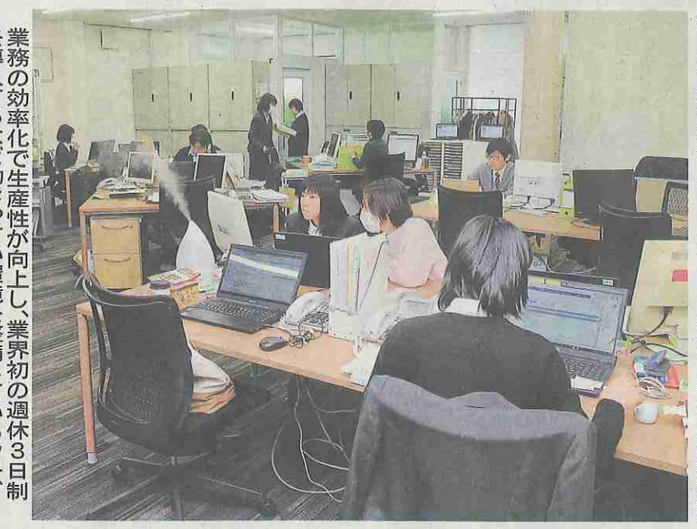
同社は1969年に創業し、米子市内を中心に土地や建物などの売買や賃貸などを展開。同市内では主な客層の20～30代の人口が、2020年に05年より約25％減少する見通しで、市場の縮小が懸念されていた。

また、業界ではIT化が進み、契約や顧客管理、申し込みなどを電子化した一方、それぞれが連動しておらず、業務が効率化していないことが課題だった。

同社は16年から業務改善に着手し、IT企業で勤務経験がある内田光治専務を中心にクラウド型の業務基幹システムを自社で開発。データが一元管理できるようになり、業務が簡略化した。誰でも進捗（しんちょく）状況が確認できるようになったことで少人数での対応が可能になり、生産性が上がった。

残業や特定社員への負担が減少し、昨年4～9月に週休3日制を月1回実施。今年は同時期に月2回実施する。育児休暇から職場復帰した田口映海香さん（34）は「子どもがいるので休みやすいのは助かる。情報が一元管理され、資料を探す手間や保管する場所が不要になり、職場がすっきりした」と喜ぶ。

自社での成果を背景に、同社は業務基幹システムを販売し、業界全体の生産性向上に寄与する方針。内田専務は「業界全体の経営が良くなり、働きやすい環境づくりの手助けになれば」と話している。



業務の効率化で生産性が向上し、業界初の週休3日制を導入するなど働きやすい環境を整備しているウチダレック＝米子市米原5丁目

地域経済ウオッチ

“私だけ”の腕時計を

オーダーメードベルト専門店　鳥取にオープン

腕時計のオーダーメードベルト専門店「Daytona（デイトナ）」が鳥取市職人町にオープン。中国地方では珍しい専門店で、同店では「県内外の腕時計に興味のある人や世界に一つだけの腕時計を目指したい人に立ち寄ってほしい」と話している。

同店を経営する武安良太さん（32）はかばんや財布などの革製品を作るオーダーメード革細工専門店を鳥取市内で経営。時計愛好家でもある武安さんは、既製の時計ベルトは選択の幅が狭く、せっかく高級腕時計を持っていても、個性がありながら時計に見合うようなベルトを探し出して、気に入った形にカスタマイズすることが難しい現状に不満を持ち、「それならば自分で」と考え、専門店としての再スタートに至った。

同店が手掛けるベルトは武安さんによる革細工の技術を生かした手作り品。バックルなどの金属部分も制作、細工できるため、牛やクロコダイルなど使用する皮の種類や部位も含め、好みに応じて膨大なデザインの組み合わせが可能。価格は1万6千円～。

ビンテージ、アンティーク時計の買い取り、販売も行っており、時計の修理、オーバーホールも請け負う。武安さんは「店ではコーヒーも出しているので、時計好き、革細工に興味のある人が立ち寄って時計や革細工の話ができる場になれば」と話す。

腕時計に見合ったこだわりのベルトを提供したいと話す武安さん＝10日、鳥取市職人町の腕時計ベルト専門店「デイトナ」

働き方改革に行動経済学

鳥取で阪大大学院教授講演

行動経済学の視点から働き方改革を考えるセミナーが9日、鳥取市内で開かれ、経済学者で大阪大大学院教授の大竹文雄氏が講演。労働者が何に基づいて意思決定しているかを解説しながら、適切な判断に導き生産性を上げていくヒントを語った。

鳥取県中小企業団体中央会と県金融広報委員会の共催で新春セミナーとして開催。大竹氏はテレビ番組などでも活躍しており、会場には企業経営者ら約120人が詰め掛けた。

大竹氏は損失回避や周囲との比較など、合理的な意思決定からずれていく実際の人間の意思決定の要因とその仕組みをアンケート結果などを示しながら解説。それらの知見を使いながら理想的な行動へと導く行動経済学の「ナッジ理論」の手法を活用した、労働生産性の向上、残業時間の短縮などの可能性を示した。

参加者らは、成果の見える化や締め切りの短期化など、理論だけでなく具体的な示唆に富んだ内容に、メモを取りながら興味深く耳を傾けた。

働き方改革への行動経済学の有用性を説く大竹氏＝9日、JR鳥取駅前のホテルニューオータニ鳥取

11月売上高は13・3％の減

山陰4百貨店

中国四国百貨店協会は、山陰4百貨店の11月の売上高を発表した。消費税増税の影響は小さくなったが、前年同月比13・3％減の19億4600万円で2カ月連続のマイナスとなった。

各店の売上高は、米子高島屋＝4億3100万円（前年同月比12・8％減）▽米子天満屋＝4億3300万円（同10・9％減）▽鳥取大丸＝3億9300万円（同21・6％減）▽一畑百貨店＝6億9千万円（同9・6％減）。

一畑百貨店は食料品や歳暮が順調に推移。入店客数はほぼ前年並みだった。米子天満屋は木育広場「モクモクガーデン」の来場が多く、関連商品が健闘した。米子高島屋は隣接する複合施設が開店し、入店客数が回復した。鳥取大丸は衣料品の展開がなかったことが前年の売上げに響いた。

商品別の前年比では、衣料品17・8％減、

地域の課題解決へげき

鳥取商議所新年祝賀会

鳥取商工会議所の新年祝賀会が8日、JR鳥取駅前のホテルニューオータニ鳥取であり、会員のほか平井伸治鳥取県知事ら約1000人が出席。児嶋祥悟会頭の発足後、初めてのスピーチを祝った。

児嶋会頭はあいさつで「人口減少などによる課題に日夜悩まされる」と話した。

継続的な地域活性を目指す

倉吉商議所新年互礼会

倉吉商工会議所（倉都祥行会頭）の臨時議員新年互礼会が8日、市内のホテルで開かれた。来を担う人材育成や建設業、住宅建設などを提

新年互礼会であいさつする

今週の動き

【14日】米子商議所正副会頭会議（11時、米子商議所）▽境港商議所正副会頭調整会議（11

イルホテル米子）

【16日】県中央会人材確保PR支援事業委（10時、対翠閣）▽日本政策金融公庫相談（同、倉吉商議所）▽倉吉商議所市政